

自己改革ハンドブック

持続可能な
経営基盤の確立

地域農業の振興・
地域社会への貢献

「**不断の自己改革**」

JA津安芸は地域農業の振興を基本的使命と位置付け「不断の自己改革」に取り組んでおり、令和3年度は、令和4年度を初年度とする次期中期計画へつなげるための「改革の単年度」として自己改革の継続的強化をすすめました。

組合員・地域の皆さまから必要であると実感して頂けるよう経営基盤の確立・強化に向けて全職員一丸となって努めてまいります。

1 等米比率 70%を目標とした農業所得の増大

令和3年産米は、収穫期に降雨が続ぎ倒伏も散見され収穫作業は後ろ倒して推移しました。そのため、品質低下の要因となる発芽粒や刈遅れによる胴割粒の発生が多く見られました。1等米比率については、あまり高温に見舞われなかったことや斑点米カメムシ類への防除対策が徹底できたことで34%となりました。



	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1等米比率	20%	27%	34%

ネギの産地形成

「津安芸ネギ生産部会」を核とした作付面積の拡大、市場・消費者ニーズを踏まえた計画的な需要への販路拡大に努めました。白ネギについては、周年栽培出荷の取組により供給量を増やしました。青ネギについては、栽培面積の拡大による供給量を増加と白ネギ、青ネギともに産地形成をめざして品質向上と安定供給に取り組みました。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
白ネギ	生産面積	200a	226a	361a
	出荷量	18 t	14.5 t	35.8 t
	販売高	4,340千円	4,952千円	11,722千円
	出荷者数	15名	14名	17名
青ネギ	生産面積	357a	336a	177a
	出荷量	65.6 t	45.8 t	70.1 t
	販売高	18,624千円	14,152千円	18,132千円
	出荷者数	12名	10名	7名

推進重点品目 作付面積の拡大、園芸作物の出荷形態の見直し

分業型園芸・複合経営に向けた提案を推進重点品目（キャベツ・カボチャ・ホウレンソウ）で行いました。加工業務用キャベツは品質向上、増収に向けた営農指導活動（品種転換等）を取り組み、加工業務用カボチャは、栽培技術向上を図り、1人当たりの増収に繋がりました。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
加工業務用 キャベツ	生産面積	500a	1,000a	880a
	出荷量	153 t	89 t	105 t
	販売高	7,102千円	3,944千円	5,792千円
	出荷者数	8名	8名	9名
加工業務用 カボチャ	生産面積	230a	202a	142a
	出荷量	21 t	17.9 t	15.8 t
	販売高	2,626千円	2,212千円	2,034千円
	出荷者数	24名	19名	13名
（分業型園芸） ホウレンソウ	生産面積	23a	20a	3a
	出荷量	308kg	1,054kg	20kg
	販売高	59千円	535千円	5千円
	出荷者数	5名	4名	1名



■管内特産物の6次産業化

管内農産物を使用した、農商工連携による6次産業化商品の実現に向けて取り組みました。

■生産資材の価格のメリットが実感できる生産コスト削減、農業資材のコスト低減



肥料・農薬の年間特約運動では、水稻一発除草剤の集約及び大型規格水稻一発除草剤の拡大による価格低減に取り組みました。

また、JAグループが取り組む水稻肥料・園芸肥料の銘柄集約や大口先への農家直送制度などを積極的に活用するとともに、水稻一発肥料銘柄集約の早期販売に向け、試験栽培に取り組みました。

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高度化成444（年特予約単価）	1,350円	1,300円	1,300円
コメットジャンボ300g（年特予約単価）	3,000円	3,000円	3,000円
農家直送制度（年特肥料及び大型規格農薬）	31件	30件	30件

（消費税込）

■レンタル農機の充実・中古農機の拡充によるコスト削減

ご好評いただいているレンタル農機は、多くの方にご利用いただきました。

農業コスト削減の取り組みとして、中古農機を土日祝日に本店米倉庫前で展示・販売を行い、農業機械が、長く安全に使えるよう点検冊子の配布による取り組みを行いました。



成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
レンタル農機利用日数	90日	108日	89日
中古農機販売台数	75台	88台	82台
草刈り機無料点検会 整備台数	147台	中止	141台
メンテナンス講習会 参加人数	75人	84人	105人

■農業者のニーズに合わせた農業融資商品の提供

農業を行うために必要な資金について、対象者や資金用途に応じた各種農業資金を用意し、融資の相談にお応えするとともに、JAバンク利子補給やJA津安芸利子補給、制度資金を活用した低金利・低コストの資金提案により、農業者の経営支援に取り組みました。

成果指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
農業資金実行件数	48件	246,870千円	38件	176,170千円	35件	197,670千円
農業資金期末残高	628件	804,047千円	585件	812,000千円	546件	839,644千円
保証料助成額	46件	2,555千円	33件	2,207千円	29件	2,231千円

※スーパーS（農業経営改善促進資金）除く

■農業リスク診断活動を通じた安全な農業経営のサポート

J A 共済では、農業におけるリスクに備えた保障提案と相談機能の充実を目的に、「農業リスクチェックシート」を活用した農業リスク診断活動を行っています。「農業リスクチェックシート」では、農作業中のケガや、農業用施設の損壊、第三者への賠償、出荷した農産物の回収、自身が万一のときの備え、現金盗難などの農業を取り巻くリスクに対する備えの有無を確認し、診断結果を基にニーズに応じた J A 共済の保障提案に取り組みました。

また、農機展示会において農業リスク診断コーナーを設置し、安全な農業経営のサポートに努めました。



成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
農業リスク診断件数 担い手	6件	16件	15件
農業リスク診断件数 個人	95件	87件	90件
合計	101件	103件	105件

重点目標 2 組合員の変化を踏まえた組織基盤の強化に向けた取り組み

■株式会社ジェイエイ津安芸との農作業支援体制の整備

営農部、営農センターと連携し、作付維持管理に取り組むとともに、農作業受託体制による作業支援を行い、地域農業振興・優良農地の保全に努めました。また、複合経営として加工業務用キャベツを令和3年9月と10月に定植し、令和3年11月末から令和4年3月末にかけて約23トンの収穫・出荷を農福連携により行いました。



成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水稻作付面積	8.5ha	10.1ha	8.5
加工業務用キャベツ作付面積	0.6ha	0.8ha	0.6a
作業受託面積（土壌改良資材散布）	68.0ha	71.6ha	67.0ha
作業受託面積（耕起・代掻き・田植え・稲刈り）	14.7ha	16.4ha	17.6ha
作業受託面積（その他）	9.2ha	12.2ha	11.9ha

■農産物直売所での情報発信・農産物の販売拡大

ファーマーズマーケットみどりの交差点では管内農産物のPRと「つ乃めぐみ」津産津消等消費拡大などの取り組みや学校給食の供給拡大、新米キャンペーンなどの産直品販売拡大に取り組みました。

また、栽培履歴簿・品質確認に取り組み、更なる消費者の信頼向上に努めるとともに、周年祭や季節のセールなどを開催し顧客満足度向上に取り組みました。



■子育て世代への商品提供と資産形成サポートによる関係強化

地域の皆さまに将来の資産形成をサポートする、子育て応援商品の提案に取り組みました。

また、がんばれるママと赤ちゃんを応援する「こどもくらぶ」の会員を募り、子育て世代への情報提供を図りました。

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
子育て応援商品 定期貯金	55,909千円	120,780千円	50,350千円
子育て応援商品 定期積金（給付契約額）	190,096千円	254,543千円	61,671千円

※期末残高

※令和3年度からは、当JA独自の「子育て応援くらぶ」新商品の取扱金額を表示しています。

■地域づくりへの貢献

子どもが安全で安心して生活できる地域社会を創造するため、三重県警察認定の取り組みである、主通学時の「子ども見守り活動」に参画し、小学校の通学路に面している金融共済店舗・津給油所の10店舗が「子ども安全・安心の店」として認定を受け、地域貢献活動に取り組みました。

■地域の活性化や地域の結び付きを強化する活動の実施



「CC活動（1支店1協同活動）」は、組合員・地域とJAをつなぐ協同活動の一つとして、組合員・地域の皆さまとの絆を深め、必要とされるJAをめざし、平成30年より全役職員で取り組んでいます。

農の大切さを伝える農業体験や、地域に参加し地域を盛り上げ、面白い店舗作りによるお出迎え、など様々な活動を行い、地域の一味となり、「親しまれ、信頼され、地域に貢献できるJA」となるべく、これからも「CC活動」を続けていきます。

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動数	29活動	20活動	15活動

■地域の特性を活かした「地区運営協議会」の活性化支援

理事が中心となり「地区の抱える課題を方向付ける協議の場」「地区のご意見・ご要望を集約する場」「JA活動の理解促進の場」として、総代の方々を主に構成する「地区運営協議会」を27地区に設置しています。

地区運営協議会が行う、食農教育活動や地域活動への参加、様々なイベントによる地域貢献、会議を通じて、多様化する組合員の皆さまのご意見・ご要望をいただきました。

成果指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会議開催数	27回	13回	12回
イベント開催数	74回	31回	23回



■大規模災害発生に備えた事業継続計画に基づく取り組み

事業継続計画（BCP）の取り組みとして、大規模災害や自然災害等が発生した場合に備え、津市洪水ハザードマップにて河川の氾濫等により水害の被害を受ける可能性が高い地域にある8施設に土のう、水中ポンプ、発電機の配置を行い、防災訓練を実施しました。また、異常気象等により各施設に来店し被災した際にも救護を目的とするため、現在18施設に保管している非常食に追加を行い、防災物資への備えを充実しました。

新型コロナウイルス感染症への対策として、三密を避けるなど感染予防の適切な対策に努めました。



■求められる職員像の育成

職員の各種資格試験合格率向上に向けた取り組みを行い、職員資格認証試験では、合格率、平均点で県下平均を上回る結果となりました。また、各部署単位で月1回の清掃デーを設定し、地域貢献と環境整備に取り組みました。

■各事業部と連携した円滑な資産継承の支援

組合員の世代交代に伴う相続・事業承継が、円滑に行われるように各部門が連携し、相続発生前後の各種相談や農業者の法人化についての提案等の支援を行いました。

自己改革を支える経営基盤確保の対策及び 確固たる事業体制確立のための組織再編の検討

組合員の皆さまが将来にわたり安心してご利用いただき、これからも地域と暮らしになくてはならない存在であり続けるため、経営基盤を確立しJAの総合事業を維持・継続する必要があることから、当JA経営による事業改革の実現をめざした「持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた取組方針」に基づいた営農経済改革事業の「収益力向上・収支改善」ならびに地域実態や組合員の利便性を確保した「店舗・ATMの再編」を基本とする事業改革の実践に取り組みました。



不稼働遊休資産の利活用売却、老朽化施設の解体による経営の効率化

地域貢献活動の一環として、公共性を踏まえた施設等の貸出しを実施しました。また、不稼働遊休資産の今後の方向性について検討を行いました。

働きがいのある職場環境づくり

働き方改革関連法への対応として、年次有給休暇5日以上取得に向け、年度当初に有給休暇計画を立てることで、休みやすい環境作りを行いました。また、ノー残業デーの設定により、長時間労働の抑制に取り組みました。

コンプライアンス意識の向上、コンプライアンス態勢の強化

コンプライアンス委員会を適時に開催し、コンプライアンス・苦情等の事案が発生した際の速やかな情報共有や再発防止策の検討を行い、役職員のコンプライアンス意識の向上に取り組みました。

不祥事未然防止及び職員のリスクに対する内部監査の充実

被監査部署から独立した立場からの客観的な評価・検証を行い、内部監査後の講評においては潜在するリスクについて具体例を挙げて説明し、職員のリスクに対する意識の向上に取り組みました。

内部管理体制の構築による牽制機能の有効化

内部管理体制の構築による牽制機能を発揮するため、内部統制システム基本方針に基づき、整備状況の確認・評価・報告を実施しました。

●営農基金事業助成金

将来の農業を担う農業者に対して、当JAが推奨する品目、施設園芸作物、加工業務用野菜の新規取組及び規模拡大（経営転換等）に関わる農業者への支援に取り組みました。

成果指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額
園芸作物基金	1件	300千円	該当なし		1件	500千円
施設園芸作物基金	1件	200千円	2件	1,272千円	2件	1,500千円
加工業務用野菜基金	該当なし		該当なし		該当なし	
合計	2件	500千円	2件	1,272千円	3件	2,000千円

●獣害・害虫被害対策補助金

管内で問題となっている有害獣（鹿・猿・猪）・有害虫（ジャンボタニシ）による農作物の被害を未然に防止するため、関係機関・組合員等と連携して対策し、管内農業の維持に取り組みました。

成果指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額
獣害被害対策補助金	58件	3,624千円	58件	3,385千円	53件	2,840千円
害虫被害対策補助金	25件	247千円	114件	192千円	77件	173千円
合計	83件	3,871千円	172件	3,577千円	130件	3,014千円

●農業融資保証料助成交付金

令和2年度より農業の規模拡大、効率化等をめざすため農業者の経費抑制を目的に、保証機関へ支払う保証料を助成し、農業者の負担軽減に取り組んでいます。

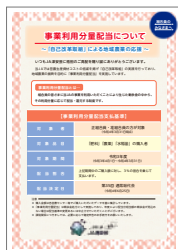
成果指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額	申請件数	交付金額
農業融資保証料助成交付金	—	—	33件	2,207千円	29件	2,231千円
合計	—	—	33件	2,207千円	29件	2,231千円

●事業利用分量配当の実施

事業利用分量配当とは、組合員の皆さまに当JAの事業をご利用いただくことにより生じた剰余金の中から、事業分量に応じて配当・還元をする制度のことです。

事業利用分量配当金の決定については、令和3年6月23日開催の第34回通常総代会において、「令和2年度剰余金処分案」として決議されています。

正組合員・准組合員の方で（令和3年3月31日時点）、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日の間）に「肥料」「農薬」「水稻苗」を購入いただいた方を対象に、購入金額（税込み）に対して3%の割合を乗じた金額をお支払いさせていただき、配当合計は13,528千円となりました。





未来へ夢...発信

JA津安芸



津安芸農業協同組合

〒514-0057 三重県津市一色町 211

TEL 059-225-1881

FAX 059-223-0912

HP <http://www.ja-tsuage.or.jp>

